

情報通信審議会 情報通信技術分科会 移動通信システム委員会
UWB 無線システム作業班（第3回）議事要旨（案）

1 日時

平成24年12月3日（月）16:30~17:30

2 場所

中央合同庁舎第2号館8階 第1特別会議室（総務省）

3 出席者（敬称略）

主 任 : 高田（東京工業大学）

主 任 代 理 : 三浦（(独)情報通信研究機構）

構 成 員 : 青山（スカパーJSAT(株)）、明山（(一社)日本アマチュア無線連盟）、浅野（(株)日立国際電気）、井家上（明治大学）、池田（NHK放送技術研究所）、石田（クアルコムジャパン(株)）、石塚（電気事業連合会）、伊丹（代理：大野、東京理科大学）、伊藤（(一社)日本船主協会）、大木（(株)東芝）、大村（(一社)電波産業会）、亀谷（国立天文台）、川端（(株)富士通システム統合研究所）、北（代理：吉田、日本電信電話(株)）、鬼頭（日本電気(株)）、小林（東京電機大学）、菅田（KDDI(株)）、関口（シャープ(株)）、高田（(一社)日本民間放送連盟）、丹野（(株)NTTドコモ）、中川（(一財)テレコムエンジニアリングセンター）、中村（水洋会）、野田（(株)日立製作所）、濱崎（(独)宇宙航空研究開発機構）、林（日本テレビ放送網(株)）、松村（(株)ダイフク研究・研修センター）、三宅（日本無線(株)）、李（(独)情報通信研究機構）

事 務 局 : 中越、松井、中川（総務省移動通信課）

4 配布資料

資料U作3-1	前回議事要旨（案）	事務局
資料U作3-2	アドホックグループの検討状況	事務局
資料U作3-3	固定・放送アドホックグループの状況について	伊丹構成員
資料U作3-4	航空・海上・レーダーアドホックグループの状況について	小林構成員
資料U作3-5	衛星・小電力アドホックグループの状況について	井家上構成員
資料U作3-6	携帯電話アドホックグループの状況について	李構成員
資料U作3-7	中間報告（案）について	事務局
資料U作3-8	スケジュール	事務局
参考資料1	UWB 無線システム作業班構成員	事務局
参考資料2	各アドホックグループ構成員	事務局
参考資料3	情報通信審議会 情報通信技術分科会 移動通信システム委員会運営方針	事務局
参考資料4	UWB 無線システム作業班運営方針	事務局

5 議事

(1) 携帯電話アドホックグループ主任の作業班への出席について

事務局より、アドホックグループの状況を説明いただくに当たり、高田主任の求めで、情報通信研究機構の李 携帯電話アドホックグループ主任に出席をいただいているとの説明があった。

(2) 前回議事要旨（案）について

事務局より、資料U作3-1に基づき、第2回 UWB 無線システム作業班の議事要旨（案）について説明があった。特段の意見等なく承認された。

(3) アドホックグループの検討状況について

事務局より、資料U作3-2に基づき、アドホックグループの検討状況について説明があった。また、大野構成員代理、小林構成員、井家上構成員及び李構成員より、資料U作3-3～3-6に基づき、それぞれ固定・放送アドホックグループ、航空・海上・レーダーアドホックグループ、衛星・小電力アドホックグループ及び携帯電話アドホックグループの状況について説明があった。特段の意見等なく承認された。

(3) 中間とりまとめ（案）について

事務局より、資料U作3-7に基づき、中間とりまとめ（案）について説明があった。

質疑応答の概要は以下のとおり。

亀谷構成員： スライド番号5で平成21年度以降は調査中と書かれているが、移動通信システム委員会までに結果が得られた場合は、数値を記載するというのでよいか。

事務局： そのとおりである。調査はシンクタンクに依頼しているところであり、年内には結果が出るだろうという話を受けているため、その段階で記載する。

亀谷構成員： 最悪の場合、調査中という記載で報告するのか。

事務局： そうすることとなる。可能な限り結果を載せたいと考えている。

高田主任： スライド番号22で衛星・小電力アドホックグループの項目では検討中との記載になっているが、今後移動通信システム委員会までにアドホックや個別検討を実施する予定ならば、その結果を反映させることもあり得るのか。

事務局： 数値が出ていないものについては数値が入ってくる。Aggregateの結果や共用条件等が加わったものが、次回の会合で提出されると想定している。

事務局より、中間とりまとめ（案）について意見等ある場合は、12月14日（金）までに提出いただくよう依頼があった。

(4) 今後のスケジュールについて

事務局より、資料U作3-8に基づき、今後のスケジュールについて説明があった。特段の意見等なく承認された。

(6) その他

事務局より、次回の作業班は3月上旬を予定しているとの説明があった。また、場合によっては2月にも開催することがあり得るため、その場合タイトなスケジュールとなるが構成員の方々には協力をお願いしたいとの依頼があった。

以上